

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	まちなみ再生事業				シート番号	017-006	
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観	課 評価責任者(課長名)	河合

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	令和 6 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	街なみ環境整備事業制度要綱、堺市街なみ環境整備事業協議会活動補助金交付要綱、堺市街なみ環境整備事業修景施設整備補助金交付要綱			
	4	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画			
5	事業実施の経緯	環濠都市地域は、平成23年度に策定した堺市景観計画において、「重点的に景観形成を図る地域」として、また、平成25年度に策定した堺市歴史的風致維持向上計画においても重点区域として位置づけており、地域の失われつつある“歴史的なまちなみ”の再生に取り組む。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	環濠エリアのうち、特に町家が多く残る北部地区の歴史的なまちなみ			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	町家歴史館(山口家住宅及び清学院)をはじめとする町家や、妙國寺、本願寺堺別院といった多くの寺社が立地し、歴史的風致が残る環濠都市北部地区において、歴史文化を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市景観計画及び堺市歴史的風致維持向上計画と連携した“環濠都市地域の歴史的なまちなみ再生”に向けて、国の「街なみ環境整備事業」を活用し、堺市街なみ環境整備事業計画に基づき、地元協議会活動支援をはじめ、町家や道路等の修景により、まちなみの再生を図る。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会・街なみ環境整備事業修景施設整備補助事業者				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	23,560	22,006	18,785	7,429	19,715	11,242	22,306
主な事業費内訳								
委託料	千円				193	6,950	6,435	5,000
補助金	千円	23,503	21,966	18,503	7,219	12,503	4,744	17,100
需用費	千円	53		234	16	184	40	184
使用料及び賃借料	千円			10		20	0	20
財源内訳								
国・府支出金	千円	11,750	11,750	9,250	5,042	6,250	1,581	8,550
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	11,810	10,256	9,535	2,387	13,465	9,661	13,756
12 人件費 (b)	千円	9,020	9,020	10,660	10,660	12,150	12,150	15,170
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	32,580	31,026	29,445	18,089	31,865	23,392	37,476

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	まちなみ再生事業	シート番号	017-006
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>歴史文化資源を活用した歴史的なまちなみの再生を図るため、地域の歴史的なまちなみの形成に関する方針及びルールづくりに向けて、堺環濠都市北部地区まちなみ再生協議会と連携しながら、地元住民との歴史的なまちなみの勉強会や景観規制に向けた勉強会を開催した。さらに、町家などの修景施設整備助成を行うことで、歴史的なまちなみと調和した景観形成に取り組んだ。これらの活動の結果、歴史的風致が残る堺環濠都市北部地区において、歴史文化資源を活用したまちなみの再生につながった。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		歴史的なまちなみ勉強会等の開催回数	回	目標値	3	3	3	3
				実績値	4	5	4	
				達成率	133%	167%	133%	
				評価	大変良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など 良好な街並みの形成に係る取組みとして、地元協議会と協働で勉強会等を開催						
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		修景施設整備助成件数	件	目標値	3	3	3	3
				実績値	7	4	2	
	達成率			233%	133%	67%		
	評価			大変良い	大変良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など 歴史的なまちなみを整備、保存するため、修景に要する費用の一部を助成							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	歴史的なまちなみ勉強会等の開催回数	回	4	5	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,267	2,554	3,253
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	566,750	510,800	813,250
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	修景施設整備助成件数	件	7	4	2
	②	上記①にかかる年間経費	千円	29,794	14,610	9,942
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,256,286	3,652,500	4,971,000
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>歴史的なまちなみの勉強会や景観規制に向けた勉強会については、堺環濠都市北部地区まちなみ再生協議会と連携しながら、着実に進めてきたため、目標件数を上回り達成できた。また、修景施設整備助成については、適宜、周知啓発活動等行うとともに事業者との調整を図りながら進めてきたが、事業者から交付申請の取り下げがあり、目標件数が達成できなかった。</p>	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
----	--	---

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	まちなみ再生事業	シート番号	017-006
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 当エリアは、堺市景観計画の「重点的に景観形成を図る地域」、堺市歴史的風致維持向上計画の「重点区域」として位置づけられており、また堺グランドデザイン2040等の実現に向けて、環濠エリアの魅力づくりが求められることから、引き続きまちなみ再生事業に取組む必要がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記同様。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 上記同様。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 歴史的なまちなみ勉強会等の開催については、会場での検温やマスクの着用など堺スタイルを実践している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (文化財課) 関連事業名 (鉄砲鍛冶屋敷保存整備) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 歴史的なまちなみ勉強会等の開催については、地元協議会と連携しながら取組んでいる。 修景施設整備や鉄砲鍛冶屋敷保存整備等における国費事務等については、住宅まちづくり課や文化財課と連携しながら取組んでいる。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 堺グランドデザイン2040等の実現に向けた当地区の更なる魅力づくりを促進するため、地元協議会活動による住民への周知啓発活動(協議会ニュースの発行)をはじめ、町家等の修景施設整備、町家の利活用、道路の美装化等に取組んでいく必要がある。			